

## 地域密着型サービス 第 1 回運営推進会議 報告書

事業所名称…地域密着型介護老人福祉施設 ゆうなぎホーム

サービス種類…地域密着型介護老人福祉施設

会議開催日…令和 7 年 5 月 28 日

開催場所…ゆうなぎホーム交流ホール

出席者

事業所	4 人	利用者	人
利用者家族	1 人	地域代表者	2 人
松江市職員	人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	人	その他 ( )	人

施設長挨拶

- ・令和 7 年度 1 回目の会議。今年度もよろしくお願いします。

議事

① 運営状況について（R 7 年 4 月 30 日現在）

- ・入居者数 22 名（男性 3 名・女性 19 名）
- ・平均介護度 3.7
- ・平均年齢 90.2 歳（男性最高年齢 92 歳 女性最高年齢 99 歳）
- ・空室状況 7 室
- ・事故およびひやりはっと件数  
事故 0 件 ひやりはっと 4 件（内転倒 3 件 外傷 1 件）
- ・入退去状況 令和 6 年度の状況  
入居 9 名 退居 11 名
- ・家族アンケートより

② 事業所からのお知らせ

- ・ホームの風景
  - 花見
  - 母の日
  - 誕生会
  - 日向ぼっこ

③ サービス運営に関する意見・要望について

<施設>

事故、ひやりはっとの違いについては、事故は入院や、継続して通院が必要となった場合に事故報告とし、それ以外の事案についてはひやりはっと

として報告をしている。ユニット会議等で再発予防について協議、対策を行っている。

<地域>

家で生活していても転倒することはない同じである。ある程度しかたないことでもある。

<地域>

アンケートについてはどれくらいの人の返答があったのか。

<施設>

ほぼ全員より返信が帰ってきている。

<地域>

面会の希望があるが、他の病院等の面会状況はどのようにされているのか

<施設>

施設、病院によりさまざまな対応されている。面会については少しずつ緩和の方向で検討している。外出の希望もあり、ドライブなども検討している。

<地域>

同じような考えを持つ人がおられることがおられ安心した。なるべく良い方向にお願いしたい。

<包括>

転倒予防のセンサーについて、安全を求める反面、身体拘束という考えもあるがどのように考えているのか。

<施設>

毎月、身体拘束廃止委員会においてセンサー対応について、適切な対応か、過剰な対応ではないか等、評価を行い見直しを実施している。

<施設>

入所について、現在 8 名相談を受けており、内 2 名話を進めている状況、本会議委員さんよりご紹介いただいた方も、サービスの利用につなげることもできた。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>